

授業科目 「教育実践研究Ⅱ」
担当教官 平松 義樹
科目区分 教育実践研究
受講生 13名

1 授業の目的と概要

本講座の目的は、最近の学校教育をめぐる諸問題、特に学力論や授業論について実践的に研究していくことにある。そして、教師としての使命感や実践的指導力を培うとともに、人間としての生き方について自ら考える力を育てることをねらいとしている。

2 学生による授業評価

本講座では、毎時間、授業終了前に授業評価を行っている。「学生のニーズに合った授業ができていくか」という問いを常に持ちながら、授業内容や構成に生かすようにしている。また、学生からの疑問や質問に対しては、次回の授業の冒頭で必ず説明するようにしている。

今年度は、受講生が少なかったため、全員の授業評価文を掲載することにする。
社会科専修(T.N)

教師を目指す自分にとって、とても刺激になった講座でした。なかなか大学の講座であったとしても、実体験に基づいた教育方法や学級経営方法を学べないので、とても貴重な体験となりました。他にもこのような講座がもっと増えればいいと思いました。ありがとうございました。

英語科専修(Y.F)

私は、今回残念ながらすべての授業に出席することができませんでした。(今でも悔しく思います)しかし、1回1回で先生が私たちに投げかけてくださる問いや言葉には、とても考えさせられ、影響を受けてきたように思います。各回を通して、私がこれから教師として、どのような視点で授業に臨むべきか、子ども達に関わっていくべきかを知るとともに、自分ならどんな資源を持っていて、それをどのように活かしたいか・・・にも考えが及んでいきました。先生のように、いつも全力で、教育的愛情に満ちていて、しんどい姿をなるべく見せないような教師であることは、自分にはまだまだ難しいかも知れませんが、少しでも近づいていけるように頑張ります。これまでありがとうございました。

理科専修(N.S)

教師という肩書きだけでなく、心構えや理論、教師としての想いまで、感じ考えることのできる授業でした。授業づくりや教材についての話はとても参考になりましたが、特に、教師としての想いは、教師を目指す人だけでなく、大人として聞いていてとても印象に残る話でした。金本先生や山内先生のお話、授業も、とても貴重な話を聞くことができました。この授業を受講して、自分自身の知識や能力の向上を目指していくことはもちろん、たくさんのお話や経験を通して、子ども達としっかり向き合うことの出来る教師になりたいと強く思いました。冗談抜きで大学に入って最もためになる授業でした。ありがとうございました。

教育学専修(M.T)

この授業では、平松先生の長年の経験に基づいた授業力や、子どもとの関わりについてのたくさんのお話を聞くことができました。平松先生が紹介して下さる毎時間の教材解釈の仕方に、いつも心をつかまれました。金本先生や山内先生といったゲストティーチャーの方々も招待して下さり、貴重な経験ができました。この授業を受けたか受けなかったかで、私の今後の授業づくりが大きく変わってくると思います。ありがとうございました。

特別支援教育講座(K.N)

何より、子ども達の様子や分かり、そして意欲をかりたてることの重要性を感じさせる講座であったと思います。児童・生徒の立場を考え、どのようにすれば自然なやる気、良い雰囲気をつくりあげることができるのか、平松先生だけでなく金本先生や山内先生の考え方・実践論を学ぶことができました。非常に濃密なものであったと思います。とても良い講座をありがとうございました。

教育心理学講座(S.O)

教育実習で経験として学んだことを理論的に言葉で学ぶことができる講義でした。他の教育の講義でも学ぶことがありましたが、この講義は、私が感じていたことをストレートに言葉にしてくれるような講義でした。

国語科専修(Y.M)

この授業では、発送の変化、ものごとをみる切り口が変わっていったように思える。自分はどうしても経験の中からしかみることができず、結果、視野が狭くなってしまっていた。地頭力を含め、少し離れて見つめると、また違った見方があるように感じる事ができた。自分の人生はまだまだこれからなので、頑張っていきたいと思う。絶好調に。ありがとうございました。

教育学専修(T.N)

将来、教師になる上で何が必要なのか、今、何をすべきなのか、はっきり見えた授業でした。教師をやるなら日本一の教師に、そんな野心を持ちながら、これからの学習に励んでいこうと思いました。平松先生をはじめ、偉大な先生方との出会いをコーディネートしてくれたことに、とても感謝しています。ありがとうございました。

教育学専修(M.Y)

本講義を受講したことで、授業力を向上させるためのヒントや方法を学ぶことができました。また、外部からの講師の方々から、貴重なお話を聞くことができ、とてもためになりました。文献の内容も、これからの教員人生の私の教えとなるエピソードや言葉がたくさんありました。他の学生にも受講を勧めたいです。

数学科専修(R.O)

私にとってこの講座は「無知の知」を実感した講座でした。平松先生の一つ一つの講義、教育、学ぶことのメカニズム、子どもの心理、人としての在り方、生き方など、様々なジャンルのお話を聞きました。それを聞いていく中で、自分の中でこれから学びたい題材が多く見つかり、自分がまだまだ無知であることを改めて気付くことができました。これから、時間の許す限り本を読み、調べていき、自分の中の知識を増やしていきたいです。

英語科専修(T.I)

私は留学から戻ってきた約1年ぶりの日本の授業だったのですが、キャンパスから友達の見られなくなって、周りは知らない人ばかりで、日本の授業のギャップを徐々に感じたりもして、本当は初日はかなりびびっていました。「厳しい先生だったら嫌だな・・・」と想いながら、おそるおそる受けた最初の授業で、平松先生のお人柄がとてもよくわかって、「あ、よかった。優しい先生だ」とすごくホッとしました。悪い人は長くつきあわないとよくわかってきませんが、明らかに良い人というのは、一度会っただけでよくわかるものですね。私は心理学にとてもうといので、先生の講義は理解が難しいときもありましたが、それ以上にとても楽しく、毎回、楽しんで受けることができました。私にとっては、安心を与えていただいた授業でした。

教育学専修(R.F)

今までの考えや見方を一度崩して、もう一度考え直す機会となりました。そのような講義を受けていて楽しかったし、子ども達も楽しめるものなのではと思いました。先生となった際には、平松先生の講義で聞いたことを思い出しながら、自分の理想に近づいていけるように努力したいと思います。

教育学専修(Y.H)

私にとってとても有意義でした。毎時間、私はこの授業にわくわくしていました。道の知識や新しい教育の視野が得られることが快感でした。教壇で活かすことができる情報やスキルをたくさん学ぶことができたと同時に、人生がより楽しく豊かになった気がします。学生の間にはできることは、一生懸命して、現場にでた際には、教育を楽しみたいです。